第２回定例会

保健所の設置等に関する条例改正、区立幼稚園条例の一部改正条例など

6/20～7/9、第２回定例会が行われました。今後大規模改修工事が必要な池袋保健所を造幣局跡地へ仮移転するため条例上の位置を変更する条例改正など、20 議案が可決。

子ども文教委員会では、区立幼稚園で長期休業中の預かり保育を行うための条例改正などが行われました。池袋幼稚園では今年度から、南長崎、西巣鴨幼稚園では来年度から実施します。

一般質問を行いました

6/27、会派を代表し一般質問を行いました。
「現状の問題に取り組みながら、中長期的なビジョンをもって環境を整える」

①ナイトタイムエコノミーを中心としたインバウンド需要の取込みについて
②としま GOOD START プロジェクトについて

①ナイトタイムエコノミーとは、いわゆるアフターファイブ以降の夜の経済活動のことで、ロンドンやニューヨークなどが先進地。
本区では深夜帯の時間ではないナイトタイムエコノミーの考え方を「豊島区アフター・ザ・シアター」の構想に託しています。
アフター・ザ・シアターとは、「観劇や映画鑑賞、音楽会などの後の余韻を楽しめる場」のことで、「セーフコミュニティ」認証都市という強みを生かし、安全安心なイメージをもってもらうというのが本区で取組む際のポイントです。
この受皿の役割は池袋だけではなく大塚にも期待されています。
商業地だけではなく閑静な住宅地もある大塚では、安全安心な取組みを行うという姿勢が不可欠なので、その点も触れながら質問しました。アフター･ザ･シアターは中長期的に取組む施策ですが国際的なイベントなどは待ったなしで訪れます。そのため短期間で対応できるインバウンド需要取り込みの方策として、キャッシュレス決済を面的に広げるべきという提案もしました。
②「豊島区の幼児教育のあり方検討委員会」による公私幼保の垣根を越えた議論を経た最終報告書が平成30年３月にまとまり、「としま GOOD START プロジェクト」として施策展開されます。
区立幼稚園が「幼児教育のセンター的機能」「幼児教育のための研究実践機関」の役割をどのように果たすか、認定こども園化の際のハード面の課題をいつ頃までに解決するのか、２点質問をしました。
平成 32 年までに公私幼保全ての幼児教育施設に対応した共通プログラムを策定すること。
幼児教育の実践の拠点は認定こども園に置くことが望ましいと考えていること。
保幼共通プログラムや保育の質ガイドラインを踏まえて就学前教育のコンセプトを固め、平成 32 年を目途に区長部局と連携し、課題と施設のあり方を整理すること、などの回答を得ました。

通学路のブロック塀等の安全対策を求める緊急要望を行いました

6/18、最大震度6弱の大阪府北部地震にて、尊い命が失われました。
即日、都民ファーストの会豊島区議団は、区へ通学路等の安全確保など3点の緊急要望を行いました。

＜緊急要望の内容＞（※区の回答内容は7/9現在）
1.全区立小・中学校、及び全幼稚園・保育所等につき、ブロック塀等の外壁の安全性につき緊急点検を行うこと。また、改修が必要であれば速やかに改修を行うこと。
⇒区の回答：直ちに区立の小中学校・幼稚園におけるブロック塀等の調査を行った。危険性が高いと考えられる小学校4校（駒込小、朋有小、朝日小、要小）は8月中までにブロック塀を撤去。他の小中学校・幼稚園のブロック塀等は全て年度内に対応。
2.区内全域のブロック塀の安全性につき緊急点検を行うこと。また、安全性に支障があれば改善に努めること。
⇒区の回答：学校を除く区施設でも緊急点検を行った。撤去または補強が必要な区施設は全て年度内に対応。
通学路等の民有地におけるブロック塀の調査は、東日本大震災の際に調査した72件について即刻行った。調査の結果、倒壊の危険がある塀の所有者に対しては書面で注意喚起すると共に、撤去または補強の補助制度の拡充や建築士等の専門家派遣制度の創設など対応を早急に検討。
3.家屋における地震対策につき、区民に対して改めて情報提供を行い、周知徹底に努めること。
⇒区の回答：各家庭における地震への備えの重要性につきHPや広報等を通じ、周知徹底に努める。

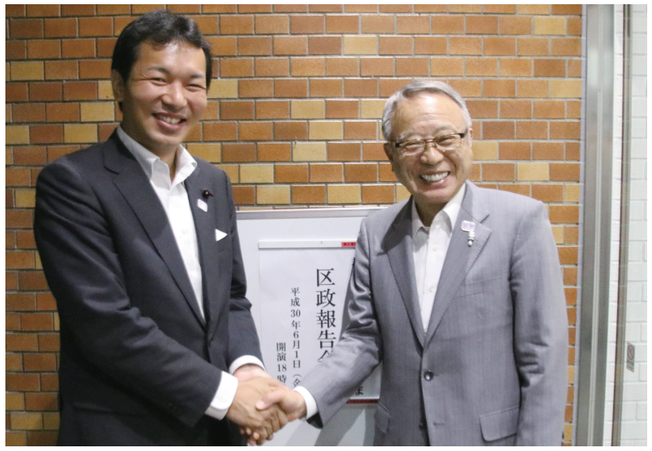
都民ファーストの会

豊島区議会議員

細川 正博

巣鴨小 OB。豊島に恩返し。
子供たちの世代へ責任ある政治を !!

【ご連絡先】
〒170-0005 豊島区南大塚 1-51-17
TEL/FAX 3945-2530　mail info@hosokawamasahiro.jp
政策等の詳細、日々の活動は **HP/Blog/Facebook** にて発信中！
※**活動レポートをお届け**いたします、ご希望の方はご一報ください。
また、**バックナンバーは HP** でご覧いただけます。
http://www.hosokawamasahiro.jp



〔細川正博（ほそかわまさひろ）・略歴〕

昭和 53 年南大塚出身。３児の父。巣鴨幼稚園、巣鴨小学校、法政大学法学部を経て公益法人に勤務。
平成 23 年初当選、２期目。
28 年７月の東京都知事選挙にて小池百合子候補を支援したことにより、同 12 月に自民党東京都連より除名処分。同 12/13、区議５名で豊島区議会に新会派**「都民ファーストの会　豊島区議団」**を結成。
子ども文教委員会・区民厚生委員会の副委員長など歴任。行財政改革調査特別委員会副委員長、大塚三業通り商店街相談役、区空手道連盟顧問、区軟式野球連盟豊島リーグ副会長、龍馬プロジェクト全国会政務調査会長など。

◀高野之夫区長と大塚駅周辺整備事業などについて対談しました。対談内容は 2,3 頁をご覧ください。

◇本号のトピックス◇

◆臨時会／◆行財政特別委員会・マイナンバーカードの利活用／
◆6 ／1 区政報告会・高野区長との対談、菊池大塚駅南北商店街連合会会長インタビュー、今後のスケジュール／
◆第2回定例会･保健所の設置等に関する条例改正など、一般質問／通学路のブロック塀等の安全対策を求める緊急要望

5/28 臨時会が行われました

5/28に第1回臨時会が行われ、今年度の所属委員会や役職が決まりました。
私にとって2期目の最終年度となる所属委員会等は以下の通りです。
（赤い字以外の所属は昨年度と変わらず）

常任委員会：子ども文教委員会
特別委員会：豊島副都心開発調査特別委員会、
行財政改革調査特別委員会（副委員長）
付属機関：消防団運営委員会、
国民保護審議会

マイナンバーカードの利活用について

6/7の行財政改革調査特別委員会で議論しました。
マイナンバーカードの普及率の向上を目指す国の方向性を踏まえ、本区ではICチップの空き容量を使った2つの実証実験を実施。

①商店街での地域ポイント使用
⇒池袋本町と巣鴨で実施。参加店・利用者のアンケート結果は芳しくなく、今後は巣鴨で引き続き実証実験。
②図書館利用カードとしても利用
⇒中央図書館で実施。利用者アンケートの結果は概ね良く、**今年度から全館で利用が可能**となりました。
（事前手続きが必要です）